

橘地域公民館だより

第102号

私たちの町 ふるさと橘 むすび合っ 支えあっ

大雪を過ぎ、寒さも一段と厳しくなってきました。また、師走に入り、字の如く、忙しい毎日のことと思いますが、皆様、いかがお過ごしでしょうか。

今年は、コロナ感染症が2類から5類に引き下げられ、この3年間中止となっていた行事もできる限り実施していこうという、地域の各種団体役員からの強い願いもあり、9月には「お祭り広場」、10月には「市民大運動会」、11月には「市民文化祭・芸能祭」が実施されました。

4年ぶりの開催とあって、実行委員の皆様には、事前の会議や準備、当日の運営等、それまで以上に大変ご苦労されたことと思います。しかし、その甲斐あって、どの行事も大変盛り上がり、皆様の笑顔をたくさん見ることができ、充実した意義あるものとなりました。

今年の実施をふまえ、来年以降、さらに地域の絆が図られ、皆様がいきいきと活動できるようにするため、役員の方々とともに、内容や方法等について検討を重ねていきたいと思っております。

寒さが厳しくなる折、皆様、健康に留意され、良いお年をお迎え下さい。

この3年間中止となってきた地域の大きな行事、①お祭り広場、②市民大運動会、③文化祭・芸能祭は、それぞれ実行委員会が組織され、多くの実行委員の方々により、実施することができました。

お祭り広場

9/24(日)、子どもたちは、

おみこしを担いだり、射的・ダーツ・くじ・輪投げなどのゲームに熱中し、楽しいひとときを過ごしました。



のべ約400名が来場し、

子どもたちの歓声が響き渡

りました。大人も子どもも笑顔がはじけ、久しぶりに活気が戻った一日となりました。



橘地区市民大運動会

10/15(日)、

あいにくの雨の中、橘小学校体育館で開催されました。十分に競技ができないのではないかと心配されましたが、広くなった体育館で思う存分走り、応援し、大変盛り上がりました。





橘いきいき講座

9/13(水)、当公民館長を **第4回 ふくしまゆかりの万葉集**
務められていた根本清夫先生から、万葉集に収め

られている福島県ゆかりの歌5首を紹介いただきました。歌の意味はもちろん、



背景などを時折ユーモアを交えながらお話しいただき、「より興味がわいた」「とてもわかりやすかった」「勉強になった」という声が聞かれました。



橘ときめき大学

第4回 古典文学入門

10/21(土)、福島大学の井實充史先生に、万葉集について詳しくお話しいただきました。短い文から読み取れる裏の部分



や想像されることなどを教えていただき、和歌の楽しみ方が広がりました。

第5回 言語理論「言葉のしくみについて」

11/18(土)、福島大学の福富靖之先生から、言葉のしくみについて日本語と英語の表現の違いを例に取りながら教えていただきました。「英語は話者が事態の外から表現するのに対し、日本語は事態の中に自らを置いて表現するという大きな違いがあり、日本語の方がより具体的で情緒的だ」というお話は特に印象深かったです。



橘おとこ塾

第5回 館外学習 「本宮・二本松方面」

10/27(金)、「まだ知らない二本松の魅力を見つけにいこう」というテーマで出かけました。本宮の蛇ノ鼻では御殿と美しい紅葉を鑑賞し、二本松城報館では二本松藩の歴史や少年隊について学



びました。さらに、鬼婆の黒塚や奥の松酒造を見学しました。晴天に恵まれ、「穏やかな秋」を満喫しました。

郡山市功労者表彰 特別表彰

保健衛生の部門で、前橘地区保健委員会会長の斎藤吉男さんがめでたく受賞されました。斎藤さんは、長年にわたり、地域の方々が健康で暮らすことができる基盤づくりに尽力されてこられました。その業績が認められての受賞となりました。誠にありがとうございました。

